



ヨコハマ想い vol.61



Love of Life!!  
桐島かれん

モデル

**桐島かれんさん**

Karen Kirishima

1964年神奈川県生まれ。1986年化粧品会社のイメージキャラクターに起用され、モデル活動を開始。以降、女優、歌手、ラジオパーソナリティとマルチに活躍。1993年に写真家の上田義彦氏と結婚し、現在4児の母。さまざまな国や文化を巡り培ってきた美意識や哲学を表現するライフクラフトブランド「HOUSE OF LOTUS」のクリエイティブディレクターを務める。

「世界中どこに、ポンっと一人で置いていかれても生きていけるように育てられました」と笑う桐島かれんさん。今までの経験を糧にしたライフスタイルから目が離せません。さあ、かれんさんと一緒に「自分が主役になれる人生を!」

バンドのヴォーカルのお誘いでした。忙しくなっていた時に結婚。これをきっかけに、昔からやってみたかったことへシフトチェンジしようと思いました。

そうは言っても子ども4人を育てていたので、12年間くらいは仕事もできない状況でしたが、やってみたかったことへの強い想いが爆発して『HOUSE OF LOTUS』というブランドが誕生しました(笑)。ファッショングデザイナーとは言えないけれど、夢が叶いました。

育児の大変な最中は「私の人生、このまま子育てで終わるのかしら」などと思うこともありました。子育てには終わりが来るわけだし、何か本当に好きなことをやろう、と。二人目を出産してから、子どもをぞろぞろ引き連れて海外に買い付けに行き、子どもたちが夏休みになる3週間だけ自宅を開放して、見つけてきたアジアの工芸品などを紹介するお店を始めたんです。そのうちにデパートから声がかかって。それが今の形に発展しました。あきらめずに、こういう形で実ったので良かったなと思います。

### ◆ かれん流、こだわりのある暮らし

母は葉山育ちで、海がある場所が好きでした。横浜のマンションからも海が見えましたし、アメリカでも海のすぐ近くに住んでいました。

私も何となく海の近くに縁を感じ、10年以上前に葉山に別荘を買いました。京都の古民家を移築した物件です。もともと古い家やアンティークが好きで、一人暮らしをしていた時から古い家をリノベーションして住んでいました。今回は築100年以上の家を元の状態に戻すというのがテーマだったので、昔から使われている一番良い素材を使い、京都の宮大工さんに住んでもらいながら、夫が現場監督をして2年かけ

て改修しました。元の状態に戻すのって大変ですよ。

庭仕事は夫担当。私、虫が苦手で(笑)。でも庭に咲いた花々で部屋を飾るのは私の担当です。わが家では毎日10人分以上の食事を作ります。夫の弟子が家に4~6人いるので。毎日、昼と夜です。お肉もキロ単位で買いますし、夜はキッチンに2~3時間はいますね。友人には「相撲部屋の女将さんみたい」と驚かれます。慣れてしまえばたいしたことではありません。

### ◆ 人生を楽しみましょう

そろそろ人生の残り時間を意識し始めていますが、これからやりたいことは『KAREN'S』の編集です。3月に旅や暮らしの楽しみ方を提案する冊子の第1号が出版され、もう秋に発行される第2号のことで頭がいっぱい。私が責任編集を手掛けていて、全ページ自分で絵コンテを書いています。自分でやらないと気が済まないタチです。

好きなことは思いっきりやる。インテリアやファッショング、フラワーアレンジも、すべて自己流。“好きこそもの上手なれ”で、できるようになりました。自分が好きなことに夢中になれば、嫌なことも忘れられる。好きなことをとことん突き詰めると思わぬ可能性が広がることも。

子育てが終わる頃に、親の介護という問題もあるでしょう。妻として、母として、娘として生きる女性たちは、自分のこと以外で大変です。でも、脇役だけの人生ではもったいない。充分に責任を果したら、自分が主人公の人生を生きたいです。母も自分が主役の人生を生きていたからこそ、私には輝いて見えました。夢中になれるもの、好きなことを見つけられれば幸せになれるのではないでしょうか。人生は1回きりですから。

取材協力:湘南T-SITE

### ◆ 「元町・中華街」は私の遊び場

4歳頃アメリカから戻り、高校生まで横浜の山手や山下公園の近くに住んでいました。「わが家はホテルニューグランドが応接間、中華街が台所、山下公園が庭よね」と母(作家の桐島洋子氏)がよく言っていました。私たち3人(妹のノエルさん、弟のローランドさん)を育てながら原稿を書いていた母が仕事場としてよく使っていたのがニューグランド。昔は中庭にプールがあって、母はプールサイドで横たわりながら原稿を書き、私たちもプールでキャーキャー遊んでいました。

中華街は歩いてすぐだったので、お使いに行っていました。今は飲食店ばかりですが、当時の市場通りには八百屋さん、魚屋さんなどその名の通り商店が並んでいました。小学校の友だちが中華街に住んでいた

ので、一緒に迷路のような路地裏の道を自由自在に飛び回っていました。中学・高校は山手にあるインターナショナルスクールへ。元町や中華街で雑貨や服を買ったりして楽しんでいました。

横浜はマルチカルチャーというか、いろんな文化が混ざっているところが魅力です。私自身も半分西洋と東洋で、文化の交差点(笑)。文化と文化がぶつかって生まれる新しいものがすごく好きなのは、やはり横浜で育ったからでしょうか。人生にすごく影響があったと思います。

### ◆ 子育てパワーが「夢」を叶えた!?

高校生の時の将来の夢はファッショングデザイナーか画家。ファッショングと絵の勉強をしていた時に、芸能界に入りました。動機は“面白そう”だったから。サディスティックミカ



## 初心者対象 手結びのきもの着付教室

**無料受講券 2ヶ月 全8回 プレゼント!**

[主催] 彩きもの学院

### ◆ カリキュラム ◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)  
※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

### ◆ 開講要項 ◆

期間 / 週1回の2ヶ月(応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)

定員 / 各時間10名

受講料 / 無料 ※但し教材費として期間中5,900円(税込)必要

教室	6月生		時間	会場
	コース	開講日		
横浜	水曜	6/19	A・B・C	横浜駅西口 歩4分
銀座	金曜	6/21	A・B・C	有楽町駅銀座口 歩5分
渋谷	金曜	6/21	A・B・C	渋谷駅ハチ公口 歩5分
新宿	木曜	6/20	A・B・C	新宿駅西口 歩5分

A(10:30~12:00)/B(14:00~15:30)/C(19:00~20:30)

**彩きもの学院**  
お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

<https://www.saikimonogakuin.co.jp/>  
**0120-073005**